

高松市立前田小  
学校だより  
Tel 847-6562

なろう、なろう  
あすなろう  
あすはヒノキになろう

あす なる  
羽 檜

2010年  
6月7日(火)  
No. 98 号

教頭 松岡 貴之

本校に赴任して2か月が経ちました。この間、入学式や運動会など大きな行事があり、またたく間に、日々が過ぎていったと感じています。

毎朝、正門の前で子どもたちを迎えていると、元気なあいさつが聞こえてきます。運動場を眺めると、1年生から6年生までが学年を超えてなかよく遊ぶ姿が見られます。前田っ子の良さがしっかりと伝わってきます。人と人がつながることで、自分らしさを発揮し相手の気持ちが理解できることを、目の当たりにできる場面です。

また、先日実施しました「マイ・ランチの日」につきましては、早朝から子どもたちに寄り添い、温かい声掛けや指導をいただき、本当にありがとうございました。ずい分、手間をお掛けしたとは思いますが、子どもたちが書いたワークシートを読んでみると、家族への感謝、こんなこともできたという自信、食べ物への慈しみ等、学校がねらった以上の成果を挙げることができました。これもひとえに保護者の皆様のお力だと感謝しております。今後も、ご家庭でできる範囲のお手伝いが広がっていけば、ありがたいと思います。

6月は、天候不順な日が続くことも予想されますし、プールが始まってこれまで以上に疲れて帰るお子様も増えてくると思われます。これまで同様、お子様とのふれあいを大切にされると同時に、体調の把握等をよろしくお願いします。

<児童の感想や作ったマイ・ランチ>

朝6時頃に起きてお弁当をつくりました。  
とくに、ゆでたまごのゆで方や野菜を  
混ぜるのは疲れました。でも、からあげや  
エビフライを揚げるのはとても楽しかったです。  
食べる時、予想以上においしく感じました。  
お母さんは、大変なご飯作りを毎日しているの  
で、すごいと思いました。これからも積極的に  
ご飯作りの手伝いをしていきます。



生活づくり (1) みんな「早寝・早起き・朝ご飯」

ここ数年、前田小学校では「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に児童の食事と生活リズムの確立をめざして保護者の皆様のご協力をいただいています。この生活リズムの確立が規範意識を確立させ、学力の向上に繋がってくるのです。今回も、生徒指導だよりで「生活づくり」の大切さについてのお話をさせていただきます。

「食事は、生活づくりの源」

食事の重要性は、近年さまざまな場で取り上げられています。3度の食事をきちんと取り、生活リズムを整えることで学習の効果は向上してくると考えられています。その中で驚くべきことは、食事の品目と学校での成績との相関関係を調べてみると、ものの見事にたくさんの食品をバランスよく食べているほど成績がよいという結果まで出ています。

これは、東京都のH氏が学力調査の偏差値と一食あたりの摂取食品数との関係を調べたものです。このことから言えることは、摂取食品数が多いほど子どもの「気力」が充実し、集中力が持続していくので学習効果が高まるのです。実は、この「気力」を充実させる食事こそが「生活づくり」の源なのです。これは、決して特別な食事をするわけではありません。

次回へ

参考文献 「学力の基礎は読み書き計算にある」 陰山英男 著  
 子どもも大人もなぜキレル  
 — 現代型栄養失調を治すすべ — 大沢 博 著



人権教育シリーズ③⑥ 「人権を大切にするために」

児童・進路支援担当 入谷 祐司

5月25日(火)の「楽しい集会」で、学年団ごとの「めあて発表会」を行いました。学年によって発表の形は違いますが、それぞれの思いは共通するところがあるように思います。子どもたちは、自分の学年のめあてを気持ちを合わせて力いっぱい発表できました。また、他の学年の発表を真剣に聞くこともできました。

人権を大切にするという態度や行動は、差別をなくすということや、いじめやなかまはずしをしないということだけではありません。相手の話をよく聞くということや、相手と心を合わせるということも、相手の人権や自分の人権を大切にすることにつながります。どの学年のめあても素晴らしいものです。このめあてを達成するために、子どもたちだけでなく、私たち(教職員・保護者・地域の方々)も人権について考え、手を携えて取り組んでいきましょう。



発表の様子

～ 各学年のめあて ～

- 1年生 「みんなとなかよくするよ」
- 2年生 「みんなともだち いっしょにがんばろう」
- 3年生 「手と手をつなぎ えがおでかがやくやさしいクラス」
- 4年生 「一人ひとりが協力し 相手の気持ちや自分の行動を考えて行動しよう」
- 5年生 「ひとりひとりの考え方や立場のちがいを理解し 生かし合おう」
- 6年生 「人権の大切さを学び 差別を許さない強い心を持とう」

各学年のめあては、体育館の2階手すりに掲示していますので、ぜひご覧ください。

教育相談だより

ゲーム依存症

教育相談担当 中井世子

昨年度の学習状況調査、児童生徒質問紙の調査結果の中に、ゲームに関する結果が出ていました。それによると、1日平均ゲームを全くしない子・1時間未満の子は、学習の理解がよく、ゲームに時間を費やす時間が長い子ほど、学習が分からなくなるというものでした。

あたりまえのことかもしれませんが、ゲームに夢中になると学習時間が短くなり、学校の宿題や自主勉強に取り組む時間が取れなくなりますからね。また、宿題や勉強はとりあえずするけれども、急いで乱雑に終わらせてしまったり、気が散って集中できなかつたりといった態度面での問題も起こります。

ゲームの時間が増えゲーム依存症になると、「人間関係が築けなくなる。」「人と会話することが苦手になる。」そうです。(学校カウンセラー網先生より) ゲーム依存症にならないためにも、ゲーム利用について親子で振り返る時間を持つのはいかがでしょうか。

